

「森トラストの考える 21世紀の新しい街づくり」

森トラスト株式会社 専務取締役 吉田 武 氏

総事業費 400～500億円 — 東北学院中学・高校跡地開発

本日のテーマは2つあります。

1つは、私どもの会社がどのような事業を行っているかということです。つまり会社のPRです。もう1つは、昨年11月に東北学院大学からご提供いただいた約5,000坪の土地をこれからどのように開発していくかということです。

まず、私どもの会社の歴史から簡単にご説明いたします。1951年に森泰吉郎氏が森トラストの前身となる森ビルを設立しました。森一族は独立自尊の家風があり、子どもが4人いましたが、最初から自分たちが独立して会社を経営していくという教育を受けたと聞いております。私どもの森章社長は三男で、森ビルの森稔社長が次男です。森ビルから私どもが独立し森トラスト（旧・森ビル開発）を設立したのが1970年。1973年にはホテル・リゾート部門を担当

する森観光トラストを立ち上げています。

森ビルは長期的な再開発を得意としております。たとえばアークヒルズとか今話題の六本木ヒルズとか、こうしたものを15年、20年単位で、地権者の複雑に入り組んだこまごまとめていくという仕事をやっています。いつ完成するかわからない。それでもまとめていくという会社が森ビルです。

私どもの森ビル開発は、あくまでも開発を5年、10年の間に必ずやり遂げようという考え方をもって設立した会社です。周辺をまとめられれば土地を買い一体的な整備を行う。たとえ周辺の説得に失敗しても単独でビルを建てればよいという考えで事業を進めてきました。つまり、長期的な開発は森ビル、中長期的な開

発は森ビル開発がそれぞれ担当していると考えていただければ結構だと思います。

1983年に赤坂ツインタワー、1990年に御殿山ガーデン、1998年に城山ガーデンをそれぞれ完成させております。1999年には仙台の駅東地区に仙台MTビルを建設しました。当時、まだ東口は今のように開発が進んでいませんでしたが、非常にポテンシャルがあるということで、私どもとしては仙台進出に踏み切った第1号です。

2000年に、東京の汐留地区で「東京汐留ビルディング」を完成、ソフトバンクの本社を入居させ、その上にホテルのヒルトンの最高級ブランド「コンラッド」を入れて国際都市・東京にふさわしい複合再開発ビルとなっています。2000年頃からパルコ、ロフト、横浜グランドインターコンチネンタルホテルなど次々と資本参加、業務提携を結びました。

これは、まちづくりというのはある意味でオフィス機能、業務機能、ホテル機能、住宅機能などの組み合わせなんです。それを地域、地域で、どれを中心に考えるか。この読みが当たるか当たらないかが、そのまちづくりが成功するかどうかだとわれわれは考えています。そのマネジメントが非常に重要になってきます。その時に、われわれデベロッパーが自分ですべてやるのか、それともアウトソーシングするのかということの一つの大きな岐路になるわけです。さっき申し上げた森ビルは、すべて自分でやるという考え方で

小松ウォール工業株式会社 仙台支店

代表取締役社長 加納 裕
仙台支店長 井尻 茂樹

製品ラインナップ

- 移動間仕切
- 可動間仕切
- 固定間仕切
- 鋼製軽量建具
- ローパーティション
- トイレブース
- 収納家具
- 内装金属工事

本社 / 石川県小松市工業団地1丁目72
仙台支店 / 仙台市宮城野区日の出町1丁目6-10
青森営業所 / 青森市青柳1丁目7-4
盛岡営業所 / 盛岡市中野1丁目17-3
福島営業所 / 郡山市安積町荒井字大久保28-1

TEL.0761-21-3131 FAX.0761-21-3127
TEL.022-788-2181 FAX.022-788-2188
TEL.017-732-3121 FAX.017-732-3122
TEL.019-606-1631 FAX.019-606-1632
TEL.024-946-0601 FAX.024-946-0661

URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>